



Google アナリティクス × どこどこ JP 連携設定手順のご案内

第 2 版 2014 年 9 月 2 日改訂

目次

1. 「どこどこ JP」のご利用登録と API キーの取得	3
2. コード変換 JavaScript ライブラリの取得と設置	3
3. Google アナリティクス トラッキングコードの取得	3
4. Google アナリティクス カスタムディメンション設定	5
5. トラッキングコードのカスタマイズと HTML への設置	8
方法 1 : HTML 中に直接 Google アナリティクスのトラッキングコードを設置する	9
5.1 トラッキングコードのカスタマイズ	9
5.2 トラッキングコードの設置	10
方法 2 : Goolge タグマネージャのユニバーサルアナリティクスタグ テンプレートを使ってト ラッキングコードを設置する	11
5.3 手順	11
5.4 トラッキングコードのカスタマイズと設定	12
設定 1 : どこどこ JP の属性値をセットするカスタム HTML タグ	12
設定 2 : カスタムディメンションを利用するユニバーサルアナリティクスタグ	15
方法 3 : Google タグマネージャのカスタム HTML タグを使ってトラッキングコードを設置する	21
5.5 タグマネージャの管理画面を使用した設定	21
5.6 トラッキングコードのカスタマイズと設置	22
6. カスタムレポートの設定（動作の確認）	25
7. (参考) Chrome ブラウザを使った動作確認の方法	28
8. お問い合わせ先	29

1. 「どこどこ JP」のご利用登録と API キーの取得

まず、下記 URL のページから「どこどこ JP」へのご利用登録と API キー発行をお願いいたします。ご利用用途・ご連絡先などをご登録いただくと「API キー文字列」が発行されます。発行した「API キー文字列」はトラッキングコードのカスタマイズ（後述）に使用します。

- 「どこどこ JP」サービスご利用登録 <https://admin.docodoco.jp/signup/>

API キー発行日から 30 日間は「無料お試し期間」となります。トラッキングコードを HTML に設置した日から「無料お試し期間」の開始ではなく、API キーが発行された日から「無料お試し期間」の開始となりますので、ご注意ください。

必要に応じて、トラッキングコード設置のタイミングにあわせて API キーを発行してください。

2. コード変換 JavaScript ライブラリの取得と設置

どこどこ JP の出力に含まれる各種コードを日本語表記に変換する JavaScript ライブラリを用意しております。下記の手順に従って JavaScript ファイルを取得し、御社 Web サーバへ設置をしてください。

1. Web ブラウザから下記 URL にアクセスし、JavaScript ファイルを UTF-8 形式で保存してください。

http://api.docodoco.jp/docodoco_ua_plugin.js

2. 御社 Web コンテンツの HTML ファイルや画像ファイルと同様にアクセスができるよう、御社 Web サーバに .js ファイルをアップロードしてください。

3. Google アナリティクス トラッキングコードの取得

Google アナリティクスにログインし、[アナリティクス設定]よりトラッキングコードを選択します。



以下が Google アナリティクスのトラッキングコードです。



4. Google アナリティクス カスタムディメンション設定

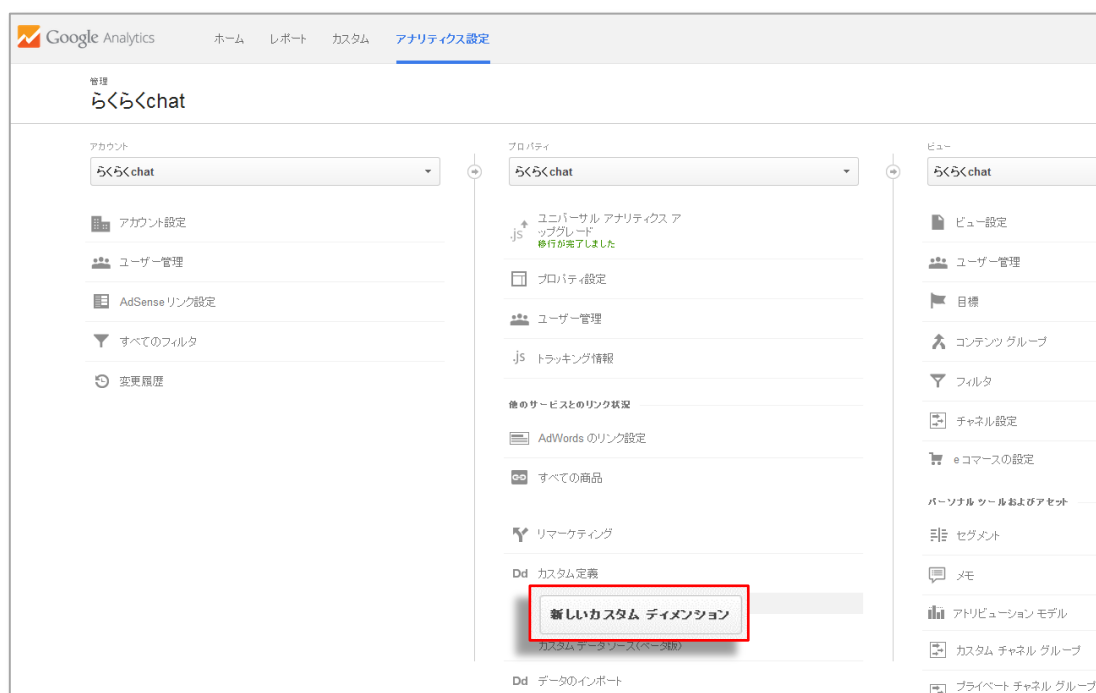
「カスタムディメンション」機能は従来の Google アナリティクスにおける「カスタム変数」を拡張した機能で、最大 20 個までの任意の値や指標を解析画面上で処理できます。

「カスタムディメンション」を使って解析処理を行うには、どのような値を処理させたいかをあらかじめ Google アナリティクスの設定画面上で設定しておく必要がありますので、下記の手順に従って「カスタムディメンション」設定をしてください。

■ 設定していただくカスタムディメンションの一覧

カスタムディメンション	名前	範囲	アクティブ
dimension1	組織名	ユーザー	チェックする
dimension2	組織 URL	ユーザー	チェックする
dimension3	業種大分類	ユーザー	チェックする
dimension4	従業員数	ユーザー	チェックする
dimension5	アクセス時刻	ヒット	チェックする
dimension6	IP アドレス	ユーザー	チェックする
dimension7	上場区分	ユーザー	チェックする
dimension8	資本金	ユーザー	チェックする
dimension9	売上高	ユーザー	チェックする
dimension10	国名	ユーザー	チェックする
dimension11	都道府県名	ユーザー	チェックする
dimension12	回線名	ユーザー	チェックする

- ① 画面右上の[アナリティクス設定] ⇒ [該当プロパティ名] ⇒ [カスタム定義] ⇒ [カスタムディメンション]の順に選択をすると、下記の設定画面が表示されます。



- ② [新しいカスタムディメンション]を選択し、カスタムディメンションの設定を行います。前ページの表にあるとおりに 12 個のカスタムディメンションを追加してください。



③ 12 個のカスタムディメンション全てを追加し終わった際の画面表示です。インデックス順にソートして、

カスタムディメンション名「組織名」 → インデックス「1」、

カスタムディメンション名「組織 URL」 → インデックス「2」、・・・

という対応が正しく一覧表のとおりになっているかどうか確認してください。

プロパティ
IPひろば

プロパティ設定

ユーザー管理

js トラッキング情報

リマーケティング

カスタム定義

カスタムディメンション

カスタム指標

カスタムデータソース(ベータ版)

データのインポート

ソーシャル設定

新しいカスタム ディメンション 作成状況: 12/20

カスタム ディメンション名	インデックス ↑	範囲	最新の変更	状態
1. 組織名	1	ユーザー	2013/11/21	有効
2. 組織URL	2	ユーザー	2013/11/21	有効
3. 業種大分類	3	ユーザー	2013/11/21	有効
4. 従業員数	4	ユーザー	2013/11/21	有効
5. アクセス時刻	5	ヒット	2013/11/21	有効
6. IPアドレス	6	ユーザー	2013/11/21	有効
7. 上場区分フラグ	7	ユーザー	2013/11/21	有効
8. 資本金コード	8	ユーザー	2013/11/21	有効
9. 売上高コード	9	ユーザー	2013/11/21	有効
10. 国名	10	ユーザー	2013/11/28	有効
11. 都道府県名	11	ユーザー	2013/11/28	有効
12. 回線名	12	ユーザー	2013/11/28	有効

表示する行数: 25 移動: 1 1 - 12/12

5. トラッキングコードのカスタマイズと HTML への設置

トラッキングコードのカスタマイズと HTML への設置の方法については、Google タグマネージャを使用しているかどうかで手順が変わります。お客様ごとに適切な方法を選択してください。

方法 1 : HTML 文中に直接 Google アナリティクスのトラッキングコードを設置する方法

Google タグマネージャを使用していないお客様は、この方法 1.を参照してください。

方法 2 : Google タグマネージャのユニバーサルアナリティクスタグテンプレートを使って設置する

Google タグマネージャのユニバーサルアナリティクスタグを用いてユニバーサルアナリティクスを既に設定されている方、Google タグマネージャのユニバーサルアナリティクスタグの中で、詳細設定(Cookie 設定、クロスドメイントラッキング等)を設定されている方向けです。

手順は複雑になりますが、Google タグマネージャテンプレートで明示的にサポート対象とされているユニバーサルアナリティクスタグ、Google タグマネージャのヘルプで案内されている実装方法に準拠しております。

方法 3 : Google タグマネージャのカスタム HTML タグを使って設置する

Google タグマネージャのカスタム HTML タグを用いてユニバーサルアナリティクスを既に設定されている方向けです。

Google タグマネージャテンプレートで明示的にサポートされていないタグを管理するための HTML タグを用いるため、比較的簡単に実装できます。

方法 1 : HTML 中に直接 Google アナリティクス のトラッキングコードを設置する

5.1 トラッキングコードのカスタマイズ

以下のサンプルトラッキングコードの**太字**で示した部分が、カスタマイズの必要がある部分です。アクセス元の組織名・組織 URL などの 12 個の属性値を Google アナリティクスのカスタムディメンションに渡しています。

どこどこ JP の API キー-1 に置換してください

```
<!--docodocojp-->
<script type="text/javascript" src="//api.docodoco.jp/v4/docodoco?key=*****"
  charset="utf-8"></script>
<script type="text/javascript" src="ディレクトリ名/docodoco_ua_plugin.js"
  charset="utf-8"></script>
<!--Google Analytics-->
<script>
  (function(i,s,o,g,r,a,m){i['GoogleAnalyticsObject']=r;i[r]=i[r]||function(){
    (i[r].q=i[r].q||[]).push(arguments)},i[r].l=1*new Date();a=s.createElement(o),
    m=s.getElementsByTagName(o)[0];a.async=1;a.src=g;m.parentNode.insertBefore(a,m)
  })(window,document,'script','//www.google-analytics.com/analytics.js','ga');

  ga('create', 'UA-1234567890-1', 'sample.jp');

  ga('set', 'dimension1', SURFPOINT.getOrgName());
  ga('set', 'dimension2', SURFPOINT.getOrgUrl());
  ga('set', 'dimension3', getIndL(SURFPOINT.getOrgIndustrialCategoryL()));
  ga('set', 'dimension4', getEmp(SURFPOINT.getOrgEmployeesCode()));
  ga('set', 'dimension5', getTime());
  ga('set', 'dimension6', SURFPOINT.getIP());
  ga('set', 'dimension7', getIpo(SURFPOINT.getOrgIpoType()));
  ga('set', 'dimension8', getCap(SURFPOINT.getOrgCapitalCode()));
  ga('set', 'dimension9', getGross(SURFPOINT.getOrgGrossCode()));
  ga('set', 'dimension10', SURFPOINT.getCountryJName());
  ga('set', 'dimension11', SURFPOINT.getPrefJName());
  ga('set', 'dimension12', SURFPOINT.getLineJName());
  ga('send', 'pageview');
</script>
```

コード変換ライブラリのディレクトリ名に置換してください

Google アナリティクスのプロパティ ID と、ドメイン名もしくは'auto'に置換してください※1

<!--docodocojp--> 部分

- ・どこどこ JP の API キー 1 に置換をしてください。

- ・「2. コード変換 JavaScript ライブラリの取得と設置」で設置していただいた docodoco_ua_plugin.js にアクセスできるよう、アップロードしたディレクトリ名に置換をしてください。

<!--Google Analytics--> 部分

※1Google アナリティクスのプロパティ ID とドメイン名の置換を行ってください。ドメイン名部分は、'auto'でも可能ですが、**Google アナリティクスから提供されているトラッキングコードに準拠して、ドメイン名への置換を推奨します。**

ご注意：

お客様にて下記のようなトラッキングコードのカスタマイズを既に行われている場合には、個別対応が必要となる場合があります。弊社担当者までご連絡ください。

(カスタマイズ例)

- ・クロスドメイン計測
- ・イベントトラッキングを使用した計測
- ・複数のビューによる同一ページの計測

5.2 トラッキングコードの設置

カスタマイズしたトラッキングコードを **計測の対象とする全てのページの HTML 中の</HEAD>タグ直前に** 設置してください。

方法 2 : Google タグマネージャのユニバーサルアナリティクスタグ テンプレートを使ってトラッキングコードを設置する

5.3 手順

※この方法で Google アナリティクスとどこどこ JP を連携するためには、下記手順が全て正しく設定されている必要があります。

以下 2 種類のタグを作成し、順番にタグが読み込まれるように設定します。

設定 1 : どこどこ JP の属性値をセットするカスタム HTML タグ の設定

どこどこ JP から属性値を取得後、dataLayer.push メソッドを用いて必要なカスタムディメンションに属性値をセットする HTML タグを設定します。

同時に、Google タグマネージャを呼び出す際に使用する event マクロも定義します。

設定 2 : カスタムディメンションを利用するユニバーサルアナリティクスタグ の設定

設定 1 でセットした event マクロを利用することで、ユニバーサルアナリティクスタグにどこどこ JP の属性値を定義したカスタムディメンションを正しく引き渡してくれるようになります。

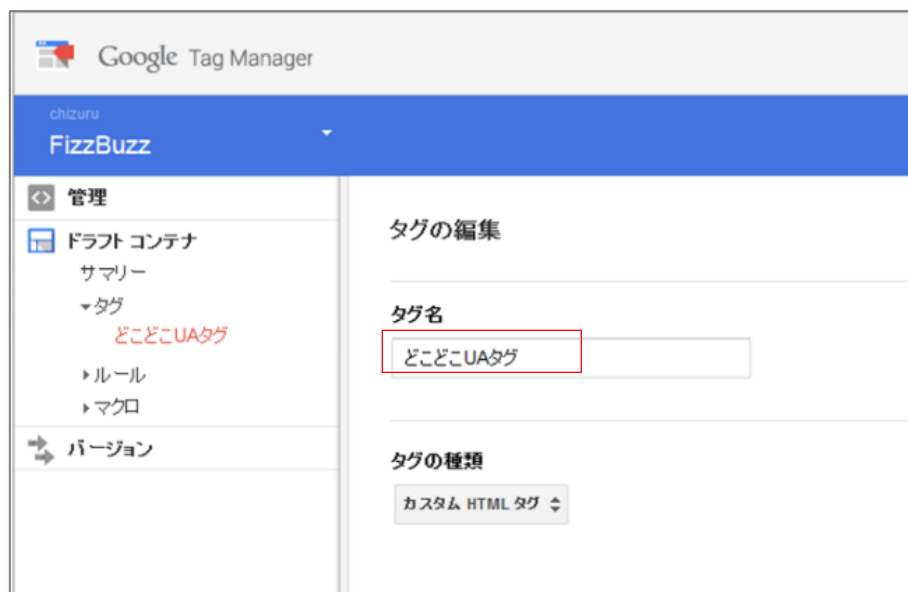
Google タグマネージャにログインをして作業を進めてください。

5.4 トラッキングコードのカスタマイズと設定

設定 1 : どこどこ JP の属性値をセットするカスタム HTML タグ

① カスタム HTML タグの発行

タグの名前を任意のものに設定し、タグの種類に「カスタム HTML タグ」が選択されていることを確認します。




② カスタム HTML タグ内の HTML 欄に以下のタグを挿入します。


以下のサンプルトラッキングコードの**太字**で示した部分が、カスタマイズの必要がある部分です。

アクセス元の組織名・組織 URL などの 12 個の属性値を Google タグマネージャ経由で Google アナリティクスのカスタムディメンションに渡しています。

どこどこ JP の API キー1 に置換してください



```
<!--docodocojp-->
<script type="text/javascript" src="http://api.docodoco.jp/v4/docodoco?key=*****"
charset="utf-8"></script>
<script type="text/javascript" src="ディレクトリ名/docodoco_ua_plugin.js" charset="utf-8"></script>
```



コード変換ライブラリのディレクトリ名に置換してください

```
<!--dataLayer-->
<script>
dataLayer.push({
  'dimension1' : SURFPOINT.getOrgName(),           //組織名
  'dimension2' : SURFPOINT.getOrgUrl(),             //組織 URL
  'dimension3' : getIndL(SURFPOINT.getOrgIndustrialCategoryL()), //業種大分類
  'dimension4' : getEmp(SURFPOINT.getOrgEmployeesCode()), //従業員数
  'dimension5' : getTime(),                         //アクセス時刻
  'dimension6' : SURFPOINT.getIP(),                 //IP アドレス
  'dimension7' : getIpo(SURFPOINT.getOrgIpoType()), //上場区分
  'dimension8' : getCap(SURFPOINT.getOrgCapitalCode()), //資本金
  'dimension9' : getGross(SURFPOINT.getOrgGrossCode()), //売上高
  'dimension10' : SURFPOINT.getCountryJName(),      //国名
  'dimension11' : SURFPOINT.getPrefJName(),         //都道府県名
  'dimension12' : SURFPOINT.getLineJName(),         //回線名
  'event'      : 'docodoco'                        //イベントトリガー
});
</script>
```

<!--docodocojp--> 部分

- ・どこどこ JP と通信できるよう、どこどこ JP の API キー 1 の置換を行ってください。
- ・「3. コード変換 JavaScript ライブラリの取得と設置」で設置していただいた

docodoco_ua_plugin.js にアクセスできるよう、URL をアップロードしたディレクトリ名に置換をしてください。

<!--dataLayer-->

"dataLayer.push({'dimension1' : SURFPOINT.getOrgName() . . .

. . . 'dimension12' : SURFPOINT.getLineJName()," 部分

どこどこ JP の属性値を Google タグマネージャのユニバーサルアナリティクス「カスタムディメンション」へ渡すための記述です。

''' event' : 'docodoco' . . . " 部分

event を合図にユニバーサルアナリティクスタグの配信制御をするために必要な記述です。

'docodoco'は、任意の文字列なので変更が可能です。

(設定 2 : カスタムディメンションを利用するユニバーサルアナリティクスタグ ③ルールの設定 にて利用します。)

③ルールの設定

タグを配信するには、少なくとも 1 つルールを設定する必要があります。

ここでは、全てのページに対してカスタム HTML タグを配信するように設定しています。特定のページにのみ配信する場合などは、任意のものにカスタマイズをしてください。



設定 2 : カスタムディメンションを利用するユニバーサルアナリティクスタグ

① マクロを作成

下図のように、マクロ名を「dimension1」、マクロのタイプを「データレイヤー変数」、データレイヤー変数名を「dimension1」と設定して[保存] ボタンを押し、マクロを作成します。

The screenshot shows the 'Edit Macro' (マクロの編集) page in Google Tag Manager. The left sidebar contains navigation links: '管理' (Manage), 'ドラフト コンテナ' (Draft Container) with sub-links 'サマリー' (Summary), 'ルール' (Rules), and 'マクロ' (Macros), and 'バージョン' (Version). The main content area is titled 'マクロの編集' and contains the following fields:

- マクロ名** (Macro Name): A text input field containing 'dimension1'.
- マクロのタイプ** (Macro Type): A dropdown menu set to 'データレイヤー変数' (Data Layer Variable).
- データレイヤー変数名** (Data Layer Variable Name): A text input field containing 'dimension1'.
- データレイヤーのバージョン** (Data Layer Version): A dropdown menu set to 'バージョン 2' (Version 2).
- デフォルト値** (Default Value): A checkbox labeled 'デフォルト値を設定する' (Set default value) is unchecked.

Below the 'バージョン 2' dropdown, there is a note: 'バージョン 2: ドットはネストされた値にアクセスします。名前にドットを用いて入力した値は、[詳しくはこちら](#)。' (Version 2: Dots access nested values. Values entered with dots in the name are detailed [here](#).)

At the bottom of the form are two buttons: '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel).

同様の操作を繰り返して「dimension12」まで 12 個のマクロを作成します。

② タグにマクロを組み込みます。

タグの編集画面上で、ユニバーサルアナリティクスタグにマクロを組み込みます。下記の2点を確認したうえで、「詳細設定（オプション）」を選択してください。

- ・「タグの種類」に“ユニバーサルアナリティクスタグ”が選択されていること
- ・「トラッキング ID」に、お使いのトラッキング ID が設定されていること

Google Tag Manager

管理

ドラフト コンテナ

サマリー

▼ タグ

アナリティクスタグ

ルール

マクロ

バージョン

タグの編集

タグ名

アナリティクスタグ

タグの種類

ユニバーサル アナリティクス

トラッキング ID

UA-43858168-1

トラッキング タイプ

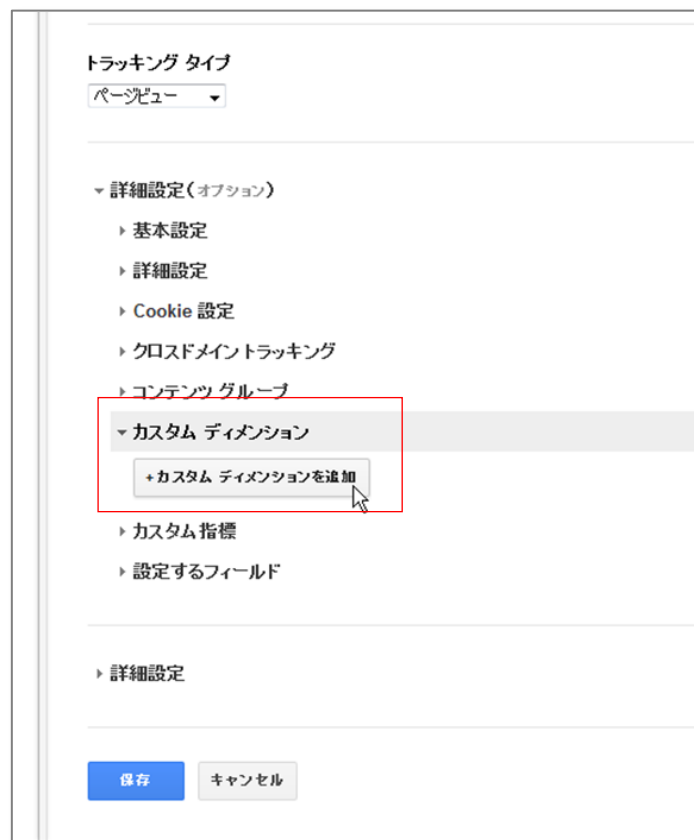
ページビュー

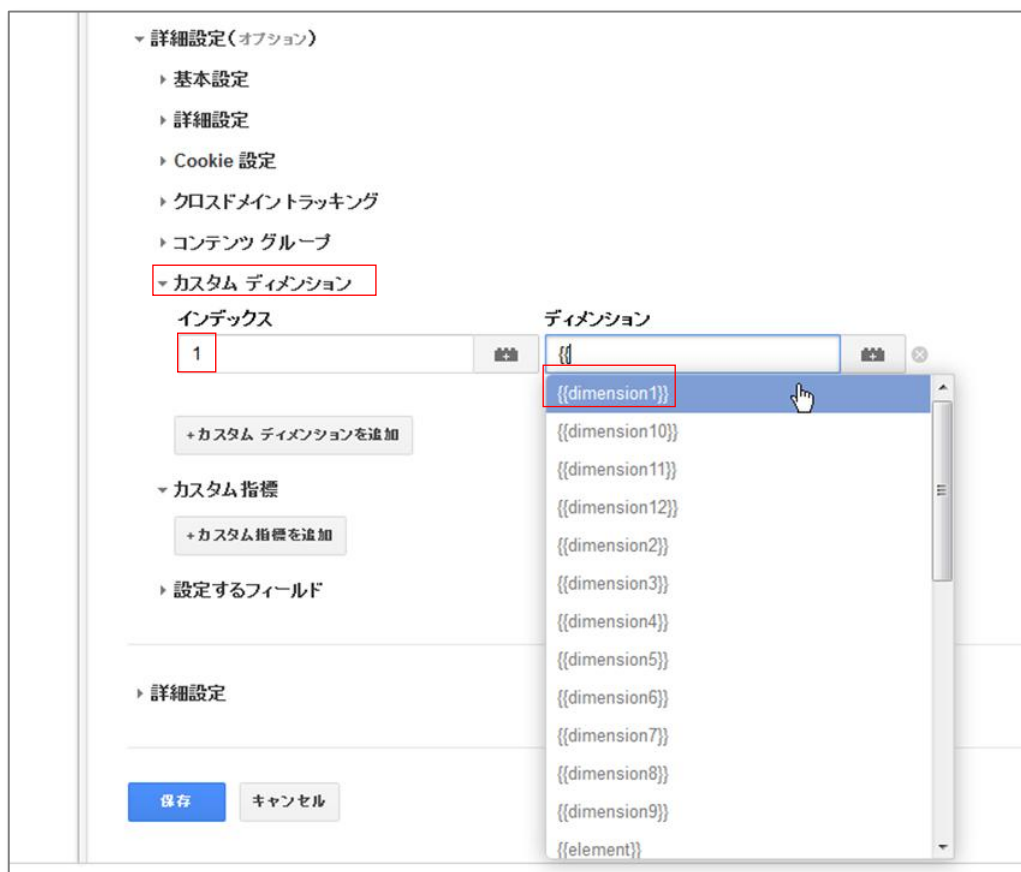
詳細設定 (オプション)

詳細設定

保存 キャンセル

[詳細設定]⇒[カスタムディメンション]⇒[カスタムディメンションを追加]を選択してください。





- ・「インデックス」列には 1 から 12 までの数字を入力してください。
- ・「ディメンション」列には、インデックスの番号に応じたマクロ（先ほど①で作成した"{{dimension1}}"から"{{dimension12}}"までの文字列）を［＋］ボタン（ルール追加）を押し、一覧から選んでください。

▶ 詳細設定
 ▶ Cookie 設定
 ▶ クロスドメイントラッキング
 ▶ コンテンツグループ

▶ カスタム ディメンション

インデックス	ディメンション
9	{{dimension9}}
1	{{dimension1}}
4	{{dimension4}}
5	{{dimension5}}
11	{{dimension11}}
6	{{dimension6}}
7	{{dimension7}}
8	{{dimension8}}
3	{{dimension3}}
10	{{dimension10}}
2	{{dimension2}}
12	{{dimension12}}

+ カスタム ディメンションを追加

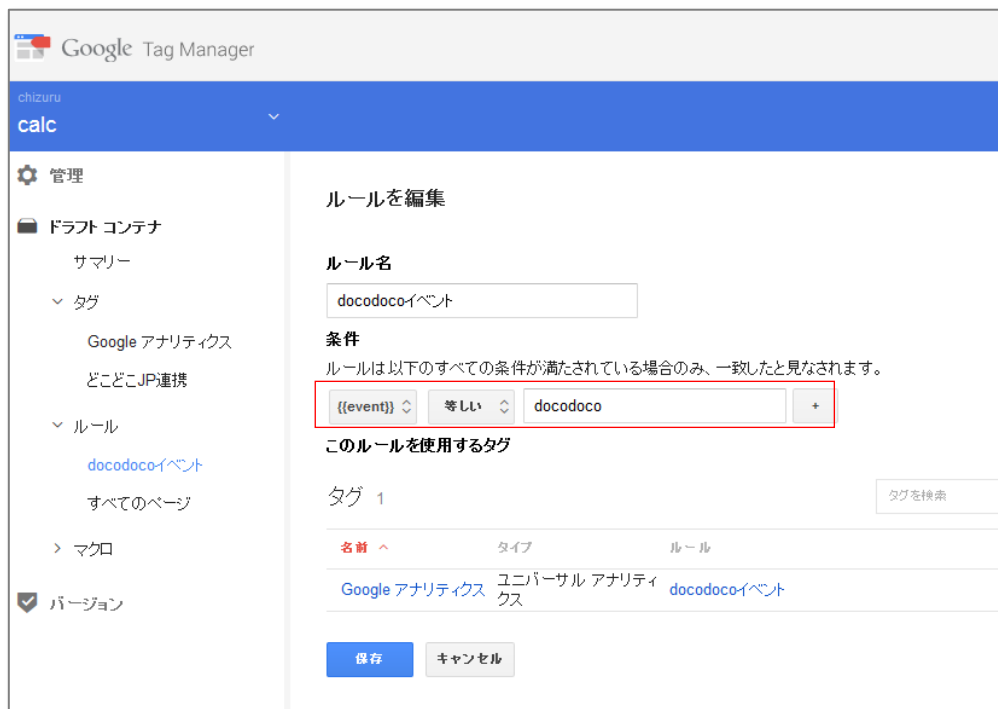
▶ カスタム 指標
 ▶ 設定するフィールド

「インデックス」と「カスタムディメンション」は、定義したインデックスと紐付ける必要があります。(例) インデックス「1」に対してディメンション「{{dimension1}}」となります。

③ ルールの設定

タグを配信するには、少なくとも 1 つルールを設定する必要があります。

ここでは、カスタム HTML タグ、ユニバーサルアナリティクスタグの順にタグを読み込ませるために event が「docodoco」に等しい場合だけにユニバーサルアナリティクスタグを配信するように設定します。



④ Google タグマネージャを公開します。

方法 3 : Google タグマネージャのカスタム HTML タグを使ってトラッキングコードを設置する

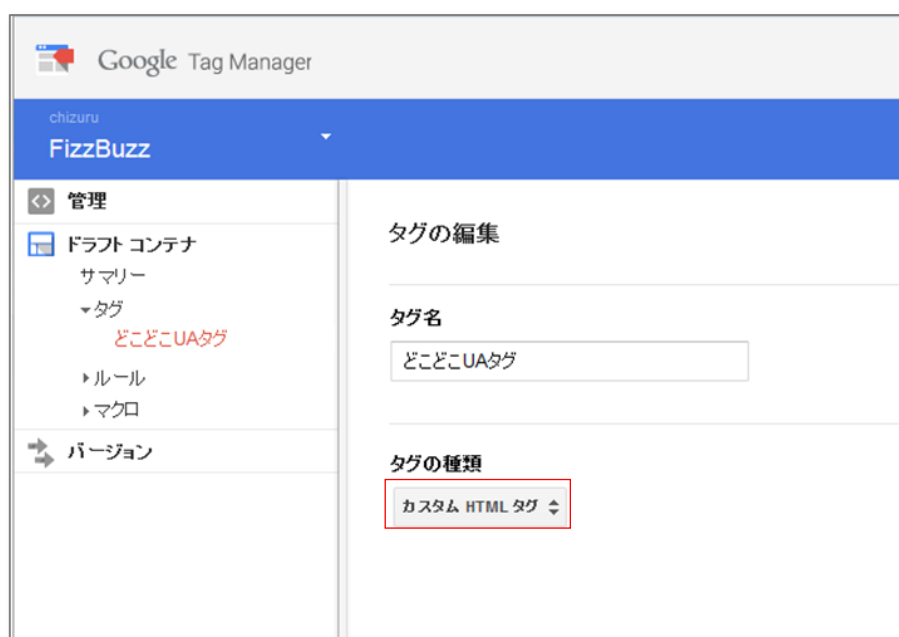
5.5 タグマネージャの管理画面を使用した設定

Google タグマネージャにログインをして作業を進めてください。

カスタム HTML タグを用い、ユニバーサルアナリティクスにどこどこ JP を連携させる手順です。

① カスタム HTML タグの発行

タグの名前を任意のものに設定し、タグの種類に「カスタム HTML タグ」が選択されていることを確認します。



5.6 トラッキングコードのカスタマイズと設置

② カスタム HTML タグ内の HTML 欄に以下のタグを挿入します。

以下のサンプルトラッキングコードの**太字**で示した部分が、カスタマイズの必要がある部分です。アクセス元の組織名・組織 URL などの 12 個の属性値を Google タグマネージャ経由で Google アナリティクスのカスタムディメンションに渡しています。

どこどこ JP を別の用途でもご利用いただいている場合は、API キーのスクリプトタグだけ HTML 上を書くことで対応可能です。

どこどこ JP の API キー-1 に置換してください

```
<!--docodocojp-->
<script type="text/javascript" src="//api.docodoco.jp/v4/docodoco?key=*****"
  charset="utf-8"></script>
<script type="text/javascript" src="ディレクトリ名/docodoco_ua_plugin.js"
  charset="utf-8"></script>
<!--Google Analytics-->
<script>
  (function(i,s,o,g,r,a,m){i['GoogleAnalyticsObject']=r;i[r]=i[r]||function(){
    (i[r].q=i[r].q||[]).push(arguments)},i[r].l=1*new Date();a=s.createElement(o),
    m=s.getElementsByTagName(o)[0];a.async=1;a.src=g;m.parentNode.insertBefore(a,m)
  })(window,document,'script','//www.google-analytics.com/analytics.js','ga');

  ga('create', 'UA-1234567890-1', 'sample.jp');

  ga('set', 'dimension1', SURFPOINT.getOrgName()); //組織名
  ga('set', 'dimension2', SURFPOINT.getOrgUrl()); //組織 URL
  ga('set', 'dimension3', getIndL(SURFPOINT.getOrgIndustrialCategoryL())); //業種大分類
  ga('set', 'dimension4', getEmp(SURFPOINT.getOrgEmployeesCode())); //従業員数
  ga('set', 'dimension5', getTime()); //アクセス時刻
  ga('set', 'dimension6', SURFPOINT.getIP()); //IP アドレス
  ga('set', 'dimension7', getIpo(SURFPOINT.getOrgIpoType())); //上場区分
  ga('set', 'dimension8', getCap(SURFPOINT.getOrgCapitalCode())); //資本金
  ga('set', 'dimension9', getGross(SURFPOINT.getOrgGrossCode())); //売上高
  ga('set', 'dimension10', SURFPOINT.getCountryJName()); //国名
  ga('set', 'dimension11', SURFPOINT.getPrefJName()); //都道府県名
  ga('set', 'dimension12', SURFPOINT.getLineJName()); //回線名
  ga('send', 'pageview');
</script>
```

Google アナリティクスのプロパティ ID と、ドメイン名もしくは'auto'に置換してください※1

<!--docodocojp--> 部分

- ・どこどこ JP と通信できるよう、どこどこ JP の API キー 1 の置換を行ってください。

- ・「3. コード変換 JavaScript ライブラリの取得と設置」で設置していただいた

docodoco_ua_plugin.js にアクセスできるように、URL アップロードしたディレクトリ名に置換をしてください。

<!--Google Analytics--> 部分

※1Google アナリティクスのプロパティ ID とドメイン名の置換を行ってください。

ドメイン名部分は、'auto'でも可能ですが、Google アナリティクスから提供されているトラッキングコードに準拠して置換いただくことを推奨します。

"ga('set', 'dimension1', SURFPOINT.get . . . " 部分

どこどこ JP の属性値などの値をユニバーサルアナリティクスの「カスタムディメンション」へ渡すための記述です。

HTML

```
<script type="text/javascript" src="http://api.docodoco.jp/v3/docodoco?key=***** " charset="utf-8"></script>
<script type="text/javascript" src="ディレクトリ名/docodoco_ua_plugin.js" charset="utf-8"></script>

<script>
(function(i,s,o,g,r,a,m){i['GoogleAnalyticsObject']=r;i[r]=i[r]||function(){
(i[r].q=i[r].q||[]).push(arguments)},i[r].l=1*new Date();a=s.createElement(o),
m=s.getElementsByTagName(o)[0];a.async=1;a.src=g;m.parentNode.insertBefore(a,m)
})(window,document,'script','/www.google-analytics.com/analytics.js','ga');

ga('create', 'UA-48756547-1', 'docodoco.jp');
ga('set', 'dimension1', SURFPOINT.getOrgName());
ga('set', 'dimension2', SURFPOINT.getOrgUrl());
ga('set', 'dimension3', getIndL(SURFPOINT.getOrgIndustrialCategoryL()));
ga('set', 'dimension4', getEmp(SURFPOINT.getOrgEmployeesCode()));
ga('set', 'dimension5', getTime());
ga('set', 'dimension6', SURFPOINT.getIP());
ga('set', 'dimension7', getIpo(SURFPOINT.getOrgIpoType()));
ga('set', 'dimension8', getCap(SURFPOINT.getOrgCapitalCode()));
ga('set', 'dimension9', getGross(SURFPOINT.getOrgGrossCode()));
ga('set', 'dimension10', SURFPOINT.getCountryJName());
ga('set', 'dimension11', SURFPOINT.getPrefJName());
ga('set', 'dimension12', SURFPOINT.getLineJName());
ga('send', 'pageview');
</script>
```

☐ document.write をサポートする
Google タグマネージャで、カスタム HTML タグをレンダリングするための新しいエンジンを使用できます。document.write() の呼び出しもサポートしています。

③ ルールの設定

タグを配信するには、少なくとも 1 つルールを設定する必要があります。

ここでは、全てのページに対して配信するように設定しています。特定のページにのみ配信する場合などは、任意のものにカスタマイズをしてください。

Google Tag Manager

chizuru
FizzBuzz

管理

- ドラフト コンテナ
- サマリー
- タグ
- ルール
 - すべてのページ
- マクロ

バージョン

ルールを編集

ルール名

すべてのページ

条件

ルールは以下のすべての条件が満たされている場合のみ、一致したと見なされます。

{{url}} 正規表現に一致 .*

このルールを使用するタグ

タグ 1

タグを検索

名前 ↑	タイプ	ルール	最終更新日
どこどこUAタグ	カスタム HTML タグ	すべてのページ	2014/03/17 10:35:21

保存 キャンセル

④ Google タグマネージャを公開します。

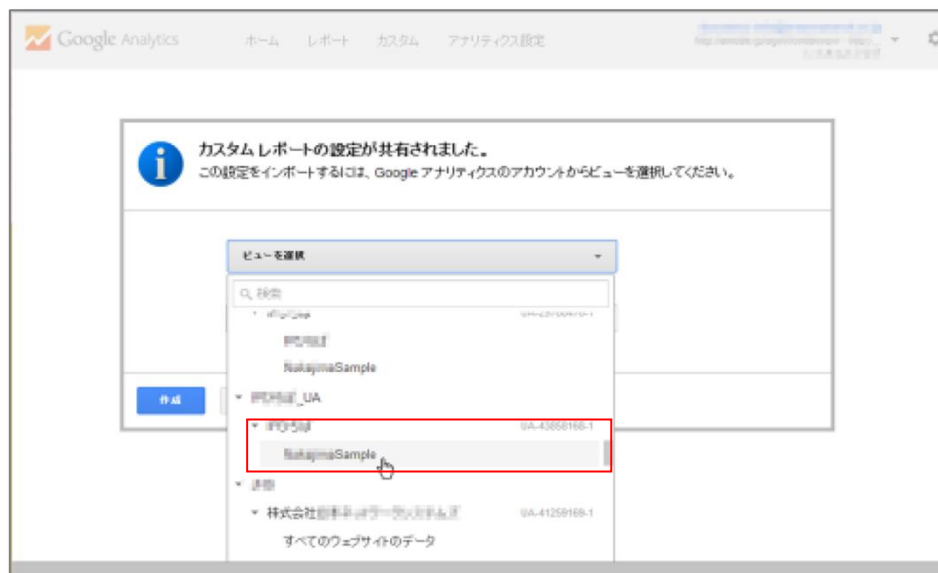
6. カスタムレポートの設定（動作の確認）

トラッキングコードの設置が完了したことで、Google アナリティクス の解析画面上でどこどこ JP の各種属性値を使ったアクセス解析ができるようになっているはずです。組織情報を用いたアクセス解析を始めていただくための「カスタムレポート」設定を御社の解析画面（「ビュー」）上に追加できますので、以下の操作を行ってください。

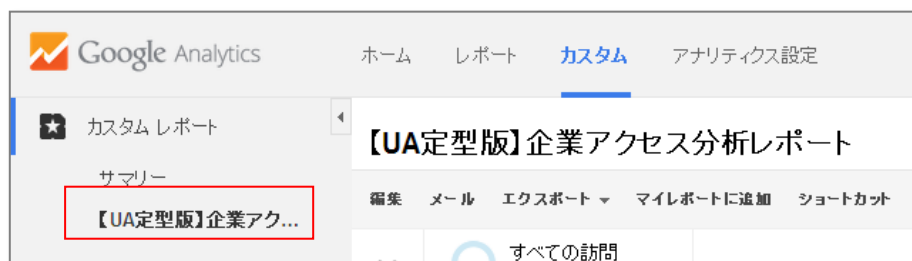
まず Google アナリティクス にログインした状態で、下記 URL にアクセスしてください。

<https://www.google.com/analytics/web/template?uid=O7ipeFtuTy-Wvt9z-JSRbg>

「ビューを選択」メニューから、カスタムレポートを追加するビューを選択し、「作成」ボタンを押してください。



Google アナリティクスのメニューバーに「カスタム」が選択され、表示されたカスタムレポートの一覧に「【UA 定型版】企業アクセス分析レポート」が追加されているはずです。



追加していただいた「企業アクセス分析レポート」には5つのアクセス解析軸が設定されており、それぞれをタブ切替で確認していただけます。

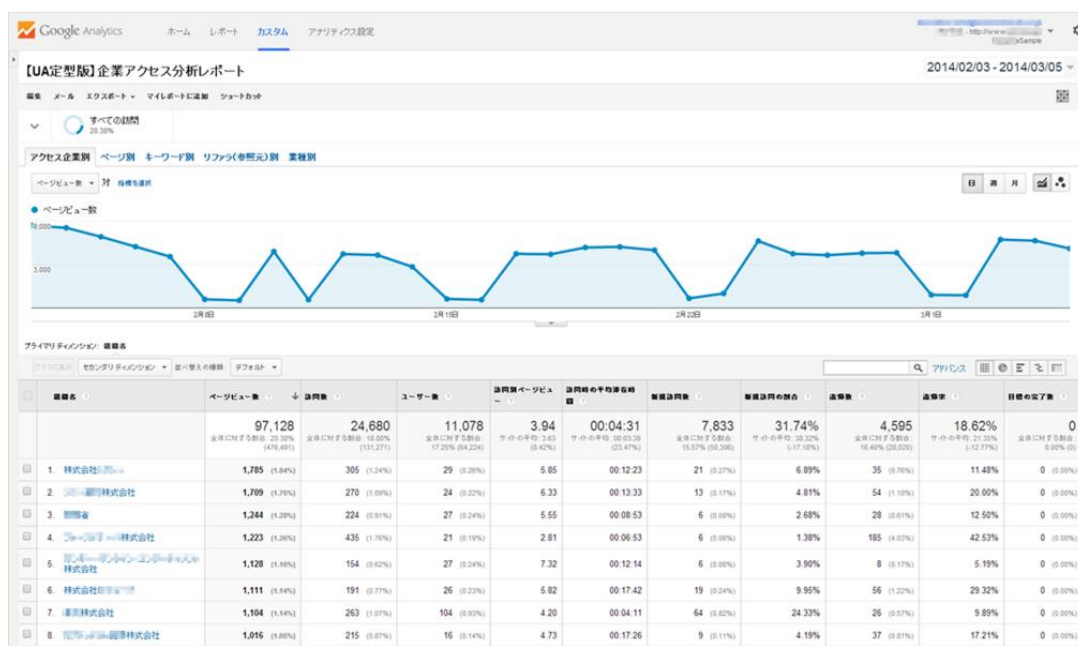


□「アクセス企業別」タブ

御社ホームページが“どんな組織からアクセスされているか”を分析できます。

一覧に表示された組織名をクリックすることで“その企業がどんなページを見たのか”を、さらにページ名をクリックすることで“企業がそのページにアクセスをした時刻”を分析できます。

これらの項目を軸として、様々な指標と組み合わせたレポートを得る事ができます。



□「ページ別」タブ

“どんな組織がこのページを閲覧しているのか” がわかります。

ページ別のページビュー数ランキングです。一覧に表示されたページ名をクリックすることで、そのページを閲覧した組織名を軸にして様々な指標を分析できます。

□「キーワード別」タブ

“どんな組織がこのキーワードで Web サイトに流入したのか” がわかります。

検索キーワード別のページビュー数ランキングです。一覧に表示された検索キーワードをクリックすることで、その検索キーワードでサイト流入をした組織別の指標を分析できます。

□「リファラ（参照元）別」タブ

“どんな組織がどこから Web サイトに流入したのか” がわかります。

リファラ別のページビュー数ランキングを表示します。一覧に表示されたリファラをクリックすることで、そのリファラに紐付く組織別の指標を分析できます。

□「業種別」タブ

“どんな業種の組織が Web サイトを閲覧しているのか” がわかります。

業種大分類別のページビュー数ランキングを表示します。一覧に表示された業種大分類をクリックすることで、その業種に紐付く組織別の指標を分析できます。

7. (参考) Chrome ブラウザを使った動作確認の方法

Chrome ブラウザの“Google Analytics Debugger”プラグインを使用すると、Google アナリティクスのトラッキングコードを実装したページで正常に計測が行われているのかを確認できます。

- Google Analytics Debugger

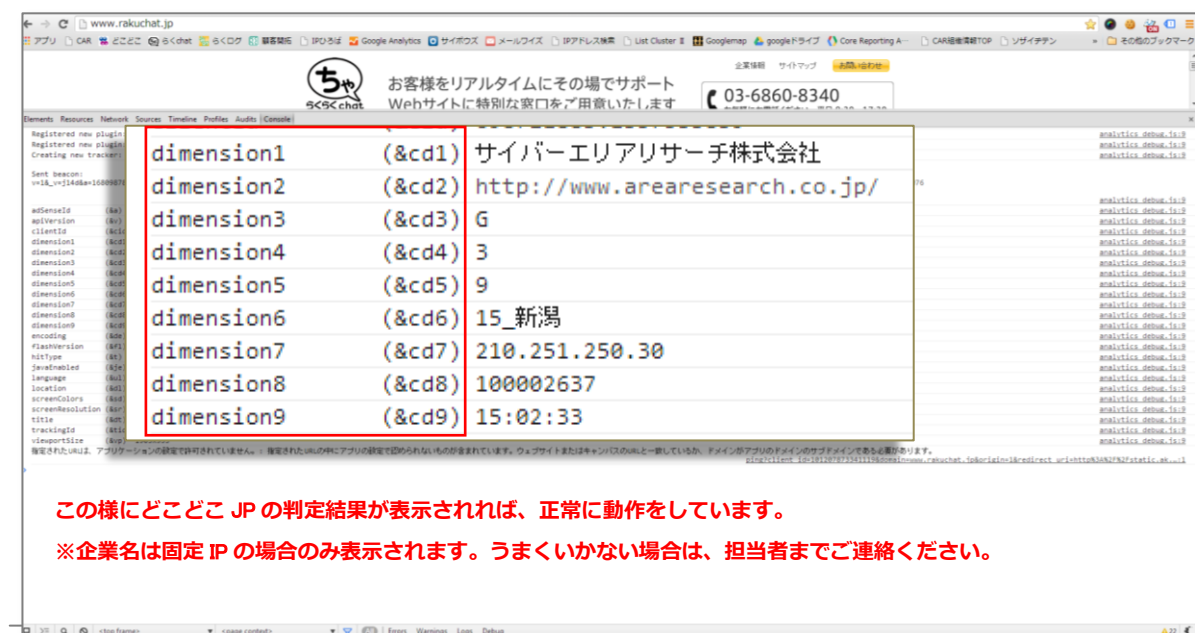
<https://chrome.google.com/webstore/detail/google-analytics-debugger/jnkmfdleelhofcjjamephohjehchna>

使用方法

1. プラグインをインストール後、[有効]になっていることを確認し右上のアイコンを[ON]の状態にします。



2. [Ctrl + shift + J]をクリックし、[F5]（再読み込み）を行います。



8. お問い合わせ先

メールでのお問い合わせは、弊社 Web サイトの下記フォームをご利用ください。

<https://www.docodoco.jp/contact/index.html>

お電話でのお問い合わせ先は下記の通りです。

サイバーエリアリサーチ株式会社 データマネジメントプラットフォームセクション

担当：中西、中島

TEL：055-991-5544 FAX：055-991-5540